

Nurse Letter

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBUNNEWS

12 Month



第14回女性医療フォーラム

平成28年11月5日



ICU 今井 里美

あかがねミュージアムで、『女性の社会進出とそれを阻むもの』というテーマのもと、当院主催の第14回女性医療フォーラムが開催されました。

社会で活躍しキャリアを積み、家庭でも主婦や母として忙しく過ごされながらも輝いている経験からの貴重な講演や、シンポジウムでは男性の目線からも意見を聞くことが出来ました。たくさんの市民の方にも聴講していただき、女性が心身ともに健康で安心して働くためには、ということへの関心の高さを感ずることができました。



患者さんの“食べる”を支えるために



NST 専門療法士
加地 玲子

口腔ケアと栄養サポートの専任看護師としてラウンドしています。機能が落ちた高齢者にとって飲み込むというのは複雑な協調運動が必要です。摂食嚥下を意識して口腔ケアをすることで機能向上が期待できます。肺炎は日本人の死因の第3位で、肺炎で死亡する95%は高齢者であり、そのうち70%以上が誤嚥と関係があるとされています。食物や口喉に形成された細菌叢を唾液とともに誤嚥して起こる場合、また、眠っている間に唾液を誤嚥してしまい、唾液中に含まれている細菌によって引き起こされる場合があります。

口腔ケアの狙いは、感染源を減らして誤嚥性肺炎を防ぐことと、潤いを保ち、食べる、喋るといった人間らしい機能を守ることです。いつも行っているケアに加えて、口の中を定期的に確認させてもらって、歯科医師、歯科衛生士とも連携して、口腔内をよい状態に近づけるようにしています。患者さん個人個人に適した口腔ケアの方法や、効果的なケア物品などの情報もお知らせできますので、いつでも気軽にご相談ください。



第64回日本職業災害学会学術大会 平成28年10月22・23日

北7階病棟 山根 千春
10月22・23日に仙台で、「認知症看護アセスメントシート導入後のA病院看護師の認知症看護の実態」をポスター発表しました。家族や勤務者間で情報共有し実践を評価することで、認知症高齢者の対応に対する看護師の意識が変わってきました。今年、厚労省の定める認知症看護実践研修を26名が受講しました。今後も、認知症看護の正しい知識と様々な看護経験をみんなで共有していきたいと思えます。

開院60周年 記念地域連携懇話会・意見交換会 平成28年11月10日

看護部 菅原 麻貴
多数の連携医療機関関係者に参加いただきました。

懇話会や意見交換会を通じ、当院での取組みについて知っていただくと共に、連携医療機関の方との情報交換ができ、親交を深める良い機会となりました。

